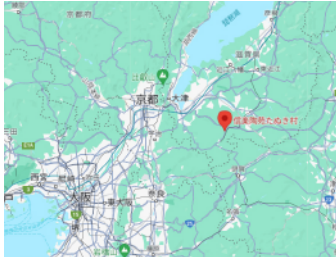


Dr. 板東のメディカルリサーチ No. 215

〈お互いに ミラー効果で 微笑んで〉

徳島には江戸時代末期、阿波国で起きたという民話「阿波狸合戦(あわたぬきがっせん)」が知られる。徳島県出身の教育家・古代史家の笠井新也は邪馬台国大和説を提唱し、「阿波の狸の話」も著し、勲六等瑞宝章を受章した(図1)。これがスタジオジブリの映画「平成狸合戦ぽんぽこ」にも繋がったといえよう。



◆鎮座する ひょうきん狸 今昔

以前に滋賀県の信楽(しがらき)に立ち寄ったことがある(図2)。山間部では下界よりぐっと冷え込んでいた。いろいろな信楽焼の工房があり、剽軽(ひょうきん)な顔立ちの狸(たぬき)を購入。母親にプレゼントしたところ、

家の玄関先ですっと鎮座していたことを思い出す。

このたび、私が勤務する医療施設に魅力的な狸がやってきた(図3)。いつも車を止めているちょうど目の前でちょこんと微笑む。なんとも可笑しみのある可愛い仕草! とても心がほっとする。なぜだろうか?

◆ひとの笑顔 にこっとタヌキ ミラーリング

ヒトの表情は複雑で、他の脊椎動物と異なる点である。言葉を使い、表情を様々に変えることによって相手とコミュニケーションを行う。手を使って火を扱う。微妙な顔の表情で気持ちを伝達。これほど、ヒトの複雑な知性・理性・感情を示すものはない。大脳が支配する領域を見ると、手の動き、顔の表情、言葉を話す面積がとても広い(図4)。

皆さまが飼っているペットの中で、はたして「褒められて、気はずかしい顔の表情を示す犬や猫」がいるだろうか? 信楽焼の狸には心理学のミラーリング(鏡)効果があるのかも。相手が微笑めばこちらでも微笑む。好きな相手の仕草や表情を、自身が無意識に真似てしまう。この原則は、恋愛心理学にも当てはまるのではないかと思う。

◆八相で 信楽タヌキ パワーあり

信楽焼は天平時代に生まれたとされる日本六古窯の1つで、聖武天皇の頃から長い歴史を有している。1976年に国の伝統工芸品として指定され、狸の置物等が好まれ親しまれてきた。

信楽焼の狸はよく店の軒先にみられるが、それは商売繁盛の象徴としてパワーが含まれているから。昔から「八相縁起(はっそうえんぎ)」と呼ばれてきており、8種類の縁起を表1にまとめた。どうもこの狸は、人間社会においても頼りになったり、参考になったりしそうである。

(板東浩、ばんどうひろし、医学博士、糖尿病専門医、ピアニスト)



表1 信楽焼の狸による「八相縁起」

笠	: 災難や悪事から笠が身を守ってくれる
目	: 周囲に気を配って、正しい判断をする
笑顔	: いつも笑顔を続け相互に幸せな気分
徳利	: 人徳を身につけ飲食に困らないように
通い帳	: 信用や信頼関係を築けるようにする
お腹	: 冷静さと大胆な決断力を持ち合わせる
金袋	: 金運に恵まれていく人生となるように
尻尾	: 終わり良ければすべて良しを心がける